

| 展覧会プレスリリース | 2014/7/17 (10/1 改訂)

## 五木田智央

# TOMOO GOKITA THE GREAT CIRCUS

2014年8月31日(日)－12月24日(水)



イラストレーションの分野で特異な才能を発揮し、90年代以降のサブカルチャーに大きな影響を与えてきた五木田智央(1969-)は、10年以上にわたり大型のキャンバス作品を国内外で発表し続けてきました。美術館での初の展覧会となる本展では、11点の最新作を中心に、未発表のドローイングや国内初公開となる大型作品など約90点を展覧し、多彩な五木田智央の現在に迫ります。

《New Sad》2014年  
アクリルグワッシュ、キャンバス  
80.3×80.3cm

開館時間 9:30-17:00(入館は16:30まで)  
休館日 月曜(ただし9/15、10/13、11/3、11/24は開館)、9/16(火)、10/14(火)、11/4(火)、11/25(火)  
入館料 一般1200円(1000円) 学生・65歳以上1000円(800円) 小中学生・高校生500円(400円)  
※( )内は20名以上の団体料金  
会場 DIC川村記念美術館 (千葉県佐倉市坂戸631番地)  
URL kawamura-museum.dic.co.jp  
主催 DIC株式会社  
後援 千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会  
企画協力 ホソカワ・アート・オフィス

### 取材および資料請求のお問い合わせ

DIC 川村記念美術館 tel. 043-498-2672 (掲載用 0120-498-130) fax. 043-498-2139  
広報担当 林 里絵子 rieko-hayashi@ma.dic.co.jp 宗 悦科 etsuka-sou@ma.dic.co.jp  
学芸担当 鈴木 尊志 takasi-suzuki@ma.dic.co.jp

五木田は本展のために約1ヶ月で10点の連作を描いています。

謎めいた形象が浮かぶこれらの作品は、抽象表現を起点として下書きなしに制作され、作家は偶然に生成された様々な形象を同時進行で同じ調べで統一し、完成へと導いています。



《At the Weekend, Dark Clouds Hang Low》  
2014年  
アクリルグワッシュ、ジェッソ、カンヴァス  
116.7×116.7 cm



《Bodyguard》  
2014年  
アクリルグワッシュ、ジェッソ、カンヴァス  
116.7×116.7 cm

2014年1月、Mary Boone Gallery (ニューヨーク)で個展を開催した五木田はモノクロームの人物表現に焦点を絞り、150号サイズの大型作品8点、中型作品7点を出品し、全て完売するという成功をおさめ帰国しました。本展では、その中から2作品と、この他に国内未公開の大作や個人コレクションを加えた代表作をご紹介します。



《Slash and Thrust》 2008年  
アクリル、カンヴァス  
259.0×194.0cm  
Collection of Kaws, New York



《Captive Bunny》 2013年  
アクリルグワッシュ、木炭、  
ジェッソ、カンヴァス  
227.3×181.8 cm  
The José Parlá Collection, New York

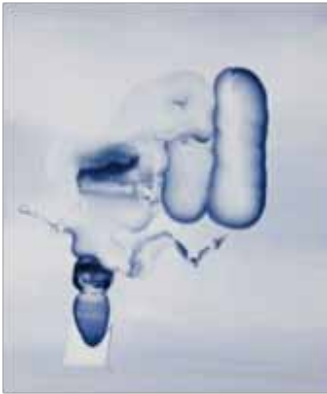


《Showgirl》 2013年  
アクリルグワッシュ、木炭、  
ジェッソ、カンヴァス  
227.3×181.8 cm  
Collection of Kaws, New York

## 3

## 青い抽象世界

2009年



2009年、Honor Fraser Gallery (ロサンゼルス) で開催された個展「Heaven」において、五木田はこれまでの人物表現とは異なる青を基調とした抽象的な形象が漂う不可思議な絵画を展開しています。本展ではこの青い抽象のシリーズから、作家自薦の7作品を展覧します。空をイメージさせるようなブルーグレーの広がりの中に形態が発生し、画面が次第に構築される様子が伝わってきます。

《This Misunderstanding》 2009年  
 アクリル、カンヴァス  
 194.0×162.0cm  
 Courtesy Honor Fraser Gallery, Los Angeles

## 4

## ステンシル作品の魅力

2010年



2010年、ATM Gallery (ニューヨーク) において五木田は同ギャラリー3度目の個展「Wildest Dreams」を開催しています。この展覧会の出品作はすべてステンシル技法が用いられ、型紙を使いアクリルエナメルでスプレーペイントした大型作品です。これらはイラストレーションの仕事をタブローとして作品化し、唯一の存在とすることで価値の逆転をはかることに成功しています。

《Classic Recycling》 2010年  
 アクリルエナメル (スプレーペイント)、カンヴァス  
 162.0×130.3cm  
 Courtesy Bill Brady KC, Kansas City

## 5

## 素描に宿る五木田の原点

2003-13年

本展ではこれまで一度も公表されなかった30点1組のグラフィットによる素描シリーズ(2003年)が初めて展示されます。これらは作家が自己のスタイルを探求するなかで、制作に行き詰まり苦悩する只中で描き続けた日記のような存在であるといえます。非常に薄い紙に執拗に描き込まれた各作品にはアルファベット、矢印、マーク、顔の一部、記号などの諸要素がかすかに認められ、これらの素描は五木田作品の原点として大変に貴重なものであると思われます。また本展ではこの他に、ほのかな温かみのある色彩で描かれたペーパーワーク20点組《CAIRO》(2013年)をあわせて展覧します。



《Untitled》 2003年  
 墨、インク、鉛筆、ボールペン、  
 クレヨン、紙  
 43.0×36.0 cm



《CAIRO》 2013年  
 アクリル、紙  
 36.4×25.7 cm

## 作家プロフィール

1969年東京都生まれ。2000年、リトルモアより作品集『ランジェリー・レスリング』を出版。カルト的な人気を集める五木田の初期作品は、おもに紙に即興的に描かれたドローイングであり、展覧会の場で発表されるだけでなく、むしろイラストレーションとして、また美術系雑誌を媒体として数多く発表されている。

近年に描かれたカンヴァスにグワッシュを用いた白黒のシュールな人物像は、いち早くニューヨークやロサンゼルスで注目され、現在は美術の世界にとどまらず音楽・出版・ファッションなど各方面に活躍の場を広げている。

## 主な個展

- 2014 Mary Boone Gallery (ニューヨーク)
- 2012 「Secret Life」 Bill Brady/ KC (カンザスシティ)  
「Variety Show」 タカ・イシイギャラリー (東京)
- 2010 「Funland」 Aliceday (ブリュッセル、ベルギー)  
「Wildest Dreams」 ATM ギャラリー (ニューヨーク)
- 2009 「Heaven」 Honor Fraser (ロスアンジェルス)  
「Champion Carnival」 ATM ギャラリー (ニューヨーク)
- 2008 タカ・イシイギャラリー (東京)
- 2007 「Vanity Drunko」 Honor Fraser (ロスアンジェルス)
- 2006 「Drunko」 ATM ギャラリー (ニューヨーク)
- 2005 「FINGER PRINCE」 ギャラリートラックス (山梨県)
- 2004 「Black Gainers」 art zone (京都)
- 2003 「OH!天国」 キリンプラザ大阪 / ナディフギャラリー (東京)
- 2002 「Morrow Master Cuts Vol.2」 康ギャラリー (東京)
- 2000 「ランジェリー・レスリング」 渋谷バルコギャラリー (東京) / 名古屋バルコギャラリー (名古屋) / 福岡アルティアム (福岡)
- 1997 ギャラリートラックス (山梨県)

## 主なグループ展

- 2013 「Wonderful My Art 高橋コレクションの作家たち」 河口湖美術館 (山梨県)  
「20th Anniversary Trax Exhibition」 ギャラリートラックス (山梨県)
- 2012 「抽象と形態：何処までも顕れないもの」 DIC 川村記念美術館 (千葉県)
- 2009 「VOCA 展 2009 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」 上野の森美術館 (東京)  
「Gallery Trax Selection '09」 ギャラリートラックス (山梨県)
- 2008 「Sonic Youth etc.: Sensational Fix」 LiFE (サン・ナゼール、フランス),  
Museion (ボルツァーノ、イタリア、2009), Kunsthalle Düsseldorf (ドイツ、2009),  
Malmö Konsthall (スウェーデン、2009), CA2M Madrid (スペイン、2010)
- 2007 「Summer group show」 Aliceday (ブリュッセル、ベルギー)
- 2005 「Remarkable Hands」 ATM ギャラリー (ニューヨーク)
- 2002 「East Meets West」 The Coningsby Gallery (ロンドン)
- 1990 「'90 Contemporary Art Festival」 埼玉県立近代美術館 (埼玉県)

## 出版物

- 2011 「シャッフル鉄道唱歌」 天然文庫  
「MY FUNNY VALENTINE」 SEEMS
- 2010 「THE HAPPY PIG」 Decathlon Books  
「CUM TO ME」 Dynasty Zine
- 2006 「LUMEN # 01 (グレイスケール 五木田智央 + ドグー・ヘアー 塩田正幸)」  
アートビートパブリッシャーズ
- 2001 「OH!天国」 アートビートパブリッシャーズ
- 2000 「ランジェリー・レスリング」 リトルモア

※年譜資料の提供：タカ・イシイギャラリー

## 会期中のイベント

### ■作家によるギャラリートーク

9月7日(日)、11月2日(日)

14:00-15:00

展示会場で作品や制作過程について  
お話しいただきます。

進行：担当学芸員

予約不要／エントランスホール集合

### ■担当学芸員によるギャラリートーク

10月5日(日)、11月24日(月・祝)、12月21日(日)

14:00-15:00

担当学芸員が展覧会の解説を行ないます。

予約不要／エントランスホール集合

### ■ガイドツアー

毎日 14:00-15:00

(ギャラリートーク開催日を除く)

ガイドスタッフがコレクション展示と

企画展をご案内します。

予約不要／エントランスホール集合

### ■THE GREAT CIRCUS コンサート

五木田がCDジャケットのデザインを手がけるなど、  
日頃から親交のあるお二人をお招きし、

「五木田智央」展会場でスペシャルライブを開催します。

①渡邊琢磨(ピアノ)

9月20日(土)

開場 17:45 開演 18:00

一般 3500円、友の会 2700円



②ジム・オルーク [Jim O'Rourke] (ギター)

10月25日(土)

開場 17:45 開演 18:00

一般 4500円、友の会 3700円

両コンサート通しチケット

一般 7000円、友の会 5400円

詳細はHPをご覧ください。



### ■千葉市美術館「赤瀬川原平の芸術原論」展との連携

本展では、より多くの方に現代美術に親しんでいただくため、千葉市美術館との相互割引を実施します。

また、両館を効率良く1日でまわれるよう、会期が重なる土・日・祝日限定で無料送迎バスを運行します。

○「五木田智央」展／「赤瀬川原平」展のチケットの半券(有料券)または  
友の会会員証をご提示いただくと、それぞれの入館料が割引となります。

千葉市美術館「赤瀬川原平」展(10/28-12/23)

一般 1000円→800円、大学生 700円→560円

DIC 川村記念美術館「五木田智央」展(8/31-12/24)

一般 1200円→1000円、学生・65歳以上 1000円→800円

○千葉市美術館と当館を結ぶ無料送迎バスを運行します。(土・日・祝日限定)

【所要時間約40分、定員37名】

11/1(土)、2(日)、3(月・祝)、8(土)、9(日)、15(土)、16(日)、

22(土)、23(日)、24(月・祝)、29(土)、30(日)

12/6(土)、7(日)、13(土)、14(日)、20(土)、21(日)、23(火・祝)

千葉市美術館 発 → DIC 川村記念美術館 行 12:00/14:00

DIC 川村記念美術館 発 → 千葉市美術館 行 13:00/15:00

### プレス内覧会

8月29日(金) 14:00-15:00

1階レクチャールームにて、本展の概要と見どころを担当学芸員よりご説明いたします。

当日は作家ご本人にも出席いただく予定です。ご案内は7月20日頃の発送を予定しています。

### 展示室内での写真撮影について

本展では「五木田智央 THE GREAT CIRCUS」展会場に限り、一般の来館者に写真撮影を許可します。

### オリジナルグッズ

五木田智央の本展オリジナルグッズをミュージアムショップで展開します。

Tシャツ、エコバッグ、缶バッジ、ビールグラス など